

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 37

福岡市東区大字箱崎  
九州大学大型計算機センター  
共同利用掛(TEL.092-64-1101)  
内線 2256

## 目 次

- TSS用ジョブ制御マクロ一覧 ..... 1
- 試用期間中のライブラリの使用方法について ..... 3
- 試用期間を終えたライブラリプログラムについて ..... 4

### ◇ TSSジョブ制御マクロ一覧

TSSで用いるジョブ制御マクロの一部を大幅に変更しましたので、ここに一括して掲載します。これらは6月20日より使用できます。

なお、従来は装置機番とボリューム通番を共に指定するようになっていましたが、これからは機番として単に040, 042または043と番号だけを指定するようになります。また、省略すると040となります。

#### 1. BACCUS

マクロ名	パラメータ
¥ BACCUS	[ CORE = HCM占有語数 ]

HCM占有語数は、KW単位で数字のみを指定します。例えばCORE = 8とすれば8KW使用できます。省略すると4となります。

#### 2. COPYFILE

マクロ名	パラメータ
¥ COPYFILE	新ファイル名, 旧ファイル名, 旧ファイルの機番, トラック数 [, ファイル種別]

新ファイルは、TSS専用ボリューム(機番043)に開設されます。

トラック数は旧ファイルのトラック数を指定します。

ファイル種別は、順編成ファイルの場合PSと指定します。省略すると分割型順編成ファイルとなります。

ファイル名のつけ方は、5. GETFILEを参照して下さい。

### 3. DELFILE

マクロ名	パラメータ
¥DELFILE	ファイル名

TSS専用ボリューム(機番043)にあるファイルを消去できます。

### 4. DFORTRAN

マクロ名	パラメータ
¥DFORTRAN	出力ファイル名[, 出力ファイルの機番] [, OLDF=(本文ファイル名(エレメント名)) (, OLDK=本文ファイルの機番)] [, AINF=(追加用ファイル名(エレメント名)) (, AINK=追加用ファイルの機番)]

### 5. GETFILE

マクロ名	パラメータ
¥GETFILE	ファイル名,トラック数[,ファイル種別]

ファイルは、TSS専用ボリューム(機番043)に開設されます。

トラック数は、40以下の10進数を指定します。

ファイル種別は、QBACCUSでセーブファイルとして用いる場合SAVEと指定します。

省略するとソースファイルとなります。

ファイル名は、次のようにして下さい。

ソースファイルの場合 QU.SC.××××××.nnnnn

セーブファイルの場合 QU.SV.××××××.nnnnn

ただし、××××××は6文字以下の英数字で、nnnnnは課題番号の下5桁です。

### 6. QBACCUS

マクロ名	パラメータ
¥QBACCUS	[ソースファイル名[,ソースファイルの機番]] [,SVF=セーブファイル名[,SVK=セーブファイルの機番]] [,LIBRARY=USE][,CORE=HCM占有語数]

SSL,FORTRANの基本外部関数を用いる場合LIBRARY=USEと指定します。

HCM占有語数は、省略すると8となります。(1. BACCUS参照)

## 7. QLINED

マクロ名	パラメータ
¥QLINED	出力ファイル名, 出力エレメント名 [, 出力ファイルの機番] [, OLDF=(本文ファイル名(エレメント名))][, OLDK=本文ファイルの機番] [, AINF=(追加用ファイル名(エレメント名))][, AINK=追加用ファイルの機番]

## 8. QLISP

マクロ名	パラメータ
¥QLISP	ソースファイル名 [, ソースファイルの機番] [, CORE=HCM占有語数]

HCM占有語数は、省略すると8となります。( 1. BACCUS 参照 )

### ◇ 試用期間中のライブラリの使用方法について

試用期間中のライブラリの内、基本的なルーチンは、QS, PLIB, TESTのファイルに登録されています。このファイルに登録されているプログラムはマクロ\$PLIBRUNを使うことによつて、呼び出すことができますが、マクロ\$LIEDを使つて呼び出しを指定する場合の方法が変更になりましたのでお知らせします。

従来、マクロ\$LIEDを用いて、QS, PLIB, TESTのファイルに登録されているプログラムの組込みを指定する場合、\$DAFILEでファイルを定義する必要がありましたが、今回この必要がなくなり、ファイル定義名P.TESTを使つて組込みを指定できる様になりました。

( 使用例 )

```

$ N8
$ QTOB
$ FORTRAN
  ソースプログラム
$ LIED
NAME  EXQTPRGM
CALL  P.TEST
SELECT RELBIN

FIN
$ RUN
  テータ
$ JEND

```

◇ 試用期間を終えたライブラリプログラムについて

現在登録されているライブラリプログラムの内、以下のものは試用期間としてテスト用ファイル、QS、PLIB、TESTに登録されていましたが、6ヶ月の試用期間を終えたため、通常のライブラリ用ファイル、QS、PLIB、RBに登録されましたのでおしらせします。

NQ.3 0 F 2 / Q U / F / S Q R O S  
NQ.3 1 F 2 / Q U / F / S Q R O D  
NQ.3 2 F 2 / Q U / F / H Q R O S  
NQ.3 3 F 2 / Q U / F / H Q R O D  
NQ.3 4 C 7 / Q U / F / P O W E L L  
NQ.3 5 G 5 / Q C / F / K U N I R N  
NQ.4 2 J O / Q U / F / R E F O R M  
NQ.4 3 F 2 / Q U / F / H Q R S  
NQ.4 4 F 2 / Q U / F / H Q R D

これに従つて、上記のプログラムは、マクロ \$ L I E D R U N で呼び出せる様になりました。  
また、マクロ \$ L I E D で組込みを指定する場合のファイル定義名は、P, L I B です。